

プリンティング・アンド・ソリューションズ (P&S) 事業

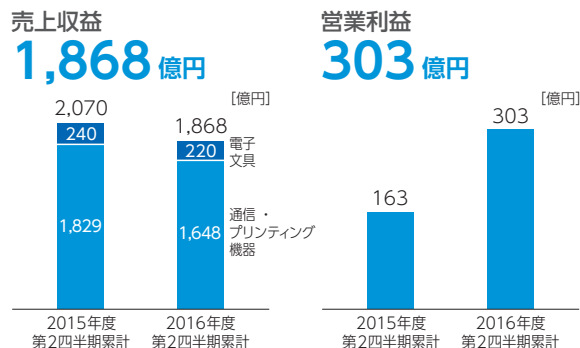
売上収益 〈通信・プリンティング機器〉

米国や中国を中心にモノクロレーザー複合機やインクジェット複合機が堅調に推移するなど、現地通貨ベースでは前年を上回る実績となったものの、円高による為替のマイナス影響が大きく、全体では減収となりました。

〈電子文具〉

各地域とも需要が堅調に推移したことにより、現地通貨ベースでは前年を上回る実績となったものの、円高による為替のマイナス影響が大きく、全体では減収となりました。

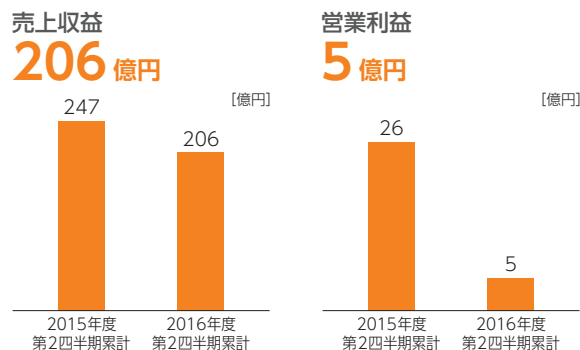
営業利益 円高による為替のマイナス影響はあったものの、販売促進費の効率化、経費の削減、在庫水準の適正化など、グループ全体での収益改善に向けた取り組みを推進した効果により、大幅な増益となりました。



パーソナル・アンド・ホーム (P&H) 事業

売上収益 西欧での販売は好調だったものの、米州において中高級機の販売が想定を下回ったことに加え、円高による為替のマイナス影響などにより、全体では減収となりました。

営業利益 円高による為替のマイナス影響に加え、主に米州において、中高級機の販売が想定を下回ったことにより、大幅な減益となりました。



マシナリー事業

売上収益 〈工業用マシン〉

景気減速を受け中国・アジア地域で需要が伸び悩んだことに加え、円高に伴う為替のマイナス影響もあり、減収となりました。

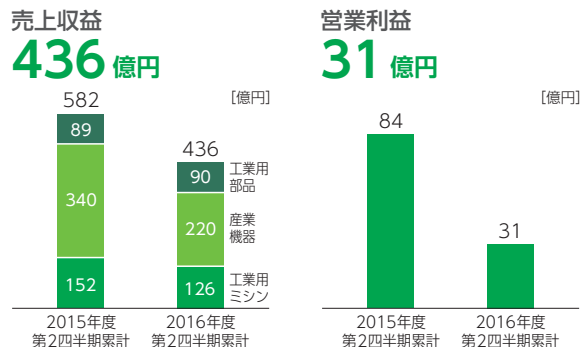
〈産業機器〉

中国のIT関連顧客からのスポット受注があったほか、自動車関連市場向けも堅調に推移したものの、前年同期に計上したIT関連顧客向けの大口案件が一巡したことによる影響が大きく、大幅な減収となりました。

〈工業用部品〉

各地域とも堅調に推移し、前年並みの水準となりました。

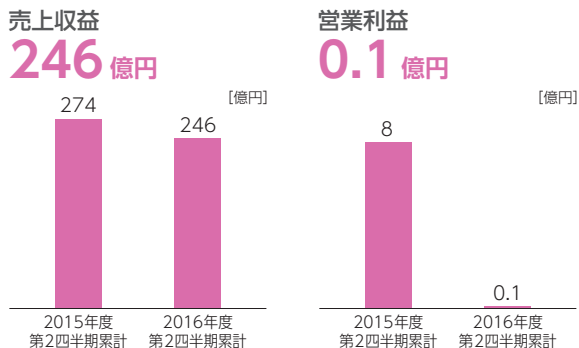
営業利益 減収に加え、成長に向けた先行投資の増加の影響などにより、大幅な減益となりました。



ネットワーク・アンド・コンテンツ(N&C)事業

売上収益 昨年投入した通信カラオケ機器の新モデルの投入効果が一巡したことにより、減収となりました。

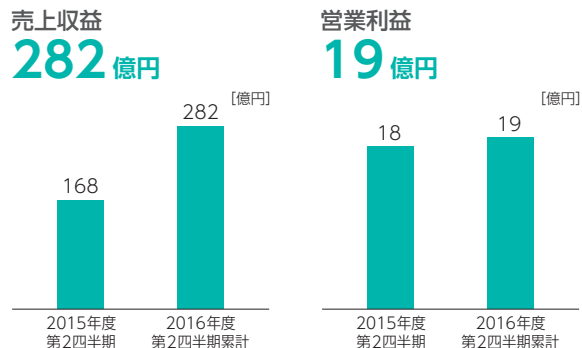
営業利益 事業セグメント利益は増益となりました。営業利益については、収益力強化のための構造改革に伴う一時費用を計上した影響により、減益となりました。



ドミノ事業

売上収益 新興国の景気減速の影響により、製品本体の販売は計画を下回ったものの、消耗品などの需要は堅調に推移しました。

営業利益 堅調な消耗品需要に支えられ、ほぼ計画どおりの利益水準となりました。



※2015年度は第2四半期連結会計期間(7月1日～9月30日)の実績